

令和6年度 第3回 在宅医療×介護連携@つちう Labo 参加者アンケート

- 日 時：令和6年10月17日（木）19時00分～20時30分
- 場 所：土浦市2階 男女共同参画センター 研修室1・2
- テーマ：自立支援と重度化予防のための支援
- 出席者：37名（アンケート回答率：100%）

1. あなたの年齢、職種を教えてください。

【年 齢】

	人数	割合
20代	1	2.7
30代	6	16.2
40代	6	16.2
50代	10	27.0
60代	12	32.4
70代以上	1	2.7
無回答	1	2.7
合計	37	100.0

【職 種】

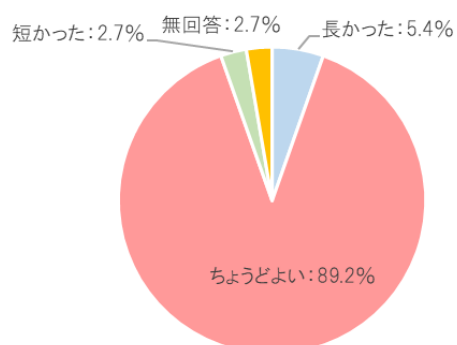
	人数	割合
介護支援専門員	16	43.2
薬剤師	14	37.8
看護師	2	5.4
精神保健福祉士	1	2.7
理学療法士	1	2.7
歯科医師	1	2.7
社会福祉士	1	2.7
無回答	1	2.7
合計	37	100.0

2. 本日の研修会について

（1）講演についてお伺いいたします

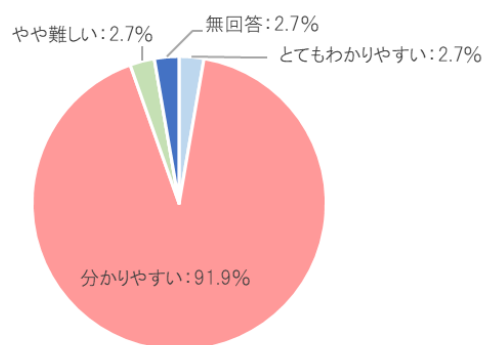
①講演の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	2	5.4
ちょうどよい	33	89.2
短かった	1	2.7
無回答	1	2.7
合計	37	100.0



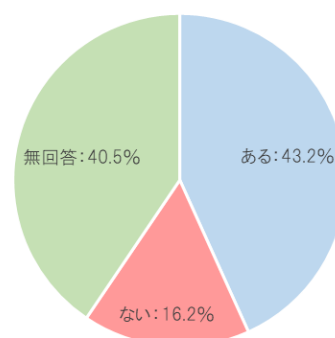
②講演の内容は、いかがでしたか？

	人数	割合
とてもわかりやすい	1	2.7
分かりやすい	34	91.9
やや難しい	1	2.7
難しい	0	0.0
無回答	1	2.7
合計	37	100.0



③本日の講演内容で、今後取り組もうと思った内容がありますか？

	人数	割合
ある	16	43.2
ない	6	16.2
無回答	15	40.5
合計	37	100.0



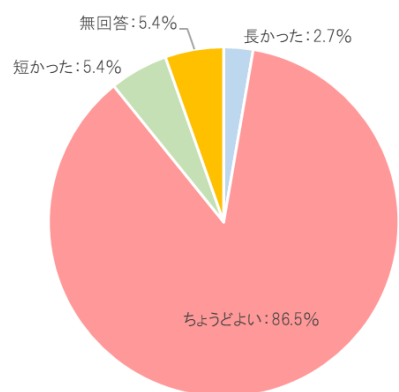
【「ある」と回答した方：具体的な内容】

- ・ヤングケアラー
- ・自立支援を意識して相談を行う。
- ・セルフマネジメント事業が対象となる人がいたら紹介する。
- ・歯科医師会員への周知。
- ・予防支援。
- ・薬歴に生活環境の詳細記載。
- ・薬剤師の連携に関わる介入。
- ・薬局でも地域の高齢者に向けてのイベントができれば…。
- ・体力に少し不安がある方へ認定申請の代行を行ってきたが、セルフマネジメント事業を紹介していると思った。
- ・例えば、保健師や作業療法士など普段接しない業種の方に相談してみたい。
- ・多職種との連携、ケアマネジャーの方の連携強化で患者さんがより快適に暮らせるように取り組む。
- ・情報交換。
- ・本人の意向にそったサービスにつながるようにタイミングで支援が必要と思った。

(2) 意見交換会について、お伺いたします。

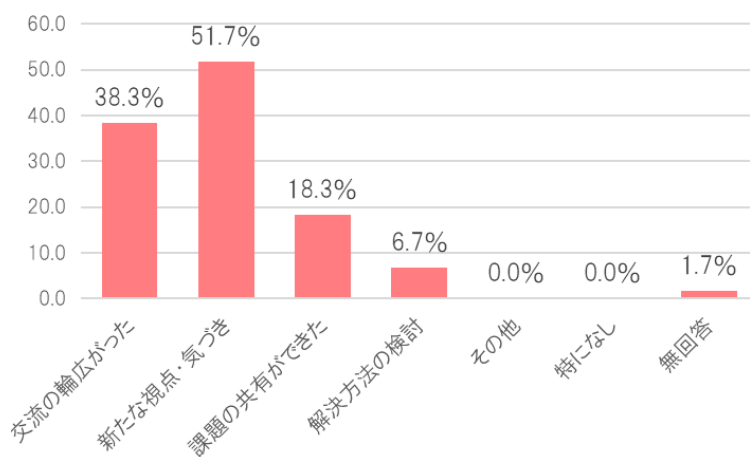
①意見交換会の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	1	2.7
ちょうどよい	32	86.5
短かった	2	5.4
無回答	2	5.4
合計	37	100.0



②本日の意見交換会では、どのような成果が得られましたか？

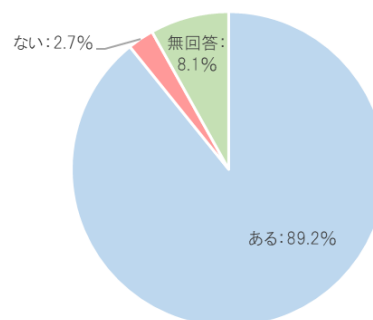
	人数	割合
交流の輪広がった	23	38.3
新たな視点・気づき	31	51.7
課題の共有ができた	11	18.3
解決方法の検討	4	6.7
その他	0	0.0
特になし	0	0.0
無回答	1	1.7



(3) 自立支援と重度化予防のための支援についてお伺いします。

①日所の業務の中で、在宅療養に携わることがありますか。

	人数	割合
ある	33	89.2
ない	1	2.7
無回答	3	8.1
合計	37	100.0



②円滑な在宅療養支援のため、日頃実践していることや、課題に感じていることを教えてください。

【実践していること】

- ・連絡を密に取ること。
- ・依頼があった時は断らない。
- ・医療（医師や看護師）との密接な連携、連絡の取り合い。
- ・診察時同席している。

- ・意向確認。
- ・多職種連携。
- ・服薬コンプライアンス。
- ・潜在的に必要とされる方の選定。
- ・医師から言われていることをしっかり把握するように気をつけている。
- ・医師、ケアマネ、施設の看護師と密接に連絡を取る。
- ・在宅療養の医師への提案。
- ・訪問診療、訪問看護。
- ・情報共有に関して共有する目的や方法を考えながら相手が必要とすることを共有する。
- ・処方薬の見直し。
- ・各専門職との連携。
- ・日々、状態が変わるので情報の共有、連絡は密にする。
- ・スケジュールで情報共有。
- ・サービス事業所、支援者との連携を大事にしている。

【課題に感じること】

- ・ケアマネさんが忙しいようで、連絡が取れない場合がある。
- ・自分の医院と訪問で休みが取れない。
- ・ご本人、ご家族の意向のすり合わせ。
- ・多職種との連携。
- ・理解をえること難しい。
- ・主治医との連携ができない。本人の捉え方と医療者の見立てに大きな差があることが多い。
- ・施設入居時や、入退院時の薬の情報を正しく把握することが難しい。
- ・フレイル予防。
- ・医療に関わる課題は解決に向けた提案をしても、医師に情報提供を嫌がられることも多い。
- ・生活実態に合った薬剤剤形の選択。
- ・ニーズにマッチするサービスが無い。
- ・支援した方がよさそうな方への介入ができない。本人、家族の同意が取れない。
- ・情報共有。
- ・本人と家族の意向に違いが出た時。

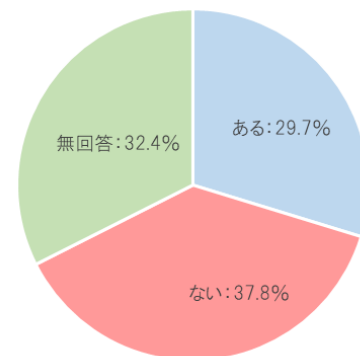
③どのようなツールがあれば、連携しやすいですか。

- ・デジタルツール
- ・チームス。
- ・市、県全体での多職種連携ツール。
- ・このような機会があれば…。
- ・ケア連携手帳は大変活用しています。
- ・各業種に連携がとりやすい。

- ・（ツールではないが）情報を共有する。
- ・電子的に相談、連携ができるツール。
- ・ICT の活用。
- ・訪問時の気づきや相談事項を多職種で共有できるツール。
- ・多職種で情報提供できるアプリの導入。
- ・サービスの空き状況が一目でわかるアプリ等。
- ・このような会議。

④今までのケースで、自立支援と重度化予防のための支援をしたことがありますか。

	人数	割合
ある	11	29.7
ない	14	37.8
無回答	12	32.4
合計	37	100.0



【利用したケース】

- ・アル中、肝硬変、要介護4の方が自立。ご家族と毎回相談、話し合いをした。
- ・重度化予防については、リハビリや訪問看護サービスの利用、介護方法の指導。
- ・リハ。
- ・運動低下気味の患者の散歩指導。
- ・薬局単位だと難しいところもある。
- ・脳血管疾患のある方への支援。
- ・自立支援の成功事例はなし。重度化予防という点では、栄養指導や運動指導。
- ・90歳代のご夫婦暮らし。妻が要支援2で腰が痛い、夫の世話をするので余計に痛くなる。子供たちは様子を見るが支援はない。
- ・介護予防の方が車を運転して生活をしていることをしめつけないように支援している（自立支援）。

⑤自立支援と重度化予防のための支援に対して感じていることはありますか。

- ・本人の意識向上、やる気のモチベーションをあげられるきっかけをつくる。
- ・早期からのリハビリテーション介入が不足している。
- ・本日のような研修はもっと必要。セルフマネジメントについてよく知りませんでした。
- ・自立支援はご本人錦が重要なので、楽しみや生き抜く意欲を持っていないと難しい。
- ・セルフネグレクトのケースの支援が難しい。
- ・運動と食事が重要だと感じました。

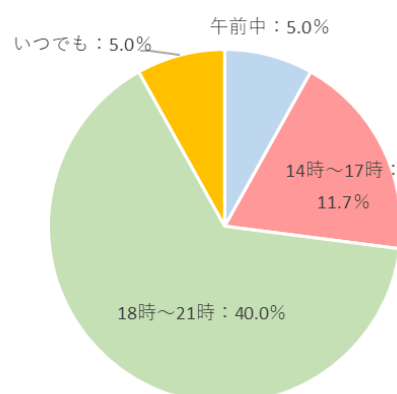
- ・重度化予防をしているつもりだが、どんどん進行していく方が多く、へこみがちですが、今後もモチベーションを下げずに取り組んでいきます。
- ・自立支援を必要とする人を見つけるタイミングが難しい。病気治療は病院にくるため見つけやすいが、「支援必要」は中途半端で見つけにくい。
- ・早めに介入することが必要と思われる。
- ・訪問介護事業所や人材が不足している。
- ・介護保険サービス以外のサポートがあれば、自立支援や重度化防止支援が充実すると思う。
- ・医師からの制限を把握できないと踏み込みづらい。
- ・利用したくとも、ケアマネが見つからない（利用者の意見）。
- ・利用者本人、家族が自立支援の理解が出来ていない。お金を払っているのだから、どんな事もサービスしてくれると思っている事が多い。
- ・老化が進むにつれて難しいと感じています。
- ・機能維持をどのようなサービスでできるかを検討している。

（４）今後、どのようなテーマの研修会や意見交換会を行ってみたいですか。

- ・認知症
- ・認知症患者との関わり方。
- ・認知症支援。身寄りのない方の支援。共生サービスについて。
- ・今回より介護度が高い方の事例の紹介。
- ・栄養指導。
- ・人生会議。
- ・リハビリ、嚥下訓練。
- ・生活保護受給について
- ・家族の関わりについて。

（５）研修会などに参加できる時間に○をつけてください。

	人数	割合
午前中	3	5.0
14時～17時	7	11.7
18時～21時	24	40.0
いつでも	3	5.0
無回答	5	8.3



(6) 最後に、お気づきの点や、ご感想などがありましたら、自由にご記載ください。

- ・ 包括の方々の仕事が多種にわたり、もっとスタッフを増やした方がよいのかなと感じています。がんばって下さい。
- ・ ありがとうございます。
- ・ いつも包括の方にはお世話になっております。ケアマネとして困難と感じたケースなど今後も相談させて下さい。
- ・ 本日はどうもありがとうございました。
- ・ 様々な視点があって、とても面白かったです。
- ・ 他業種の方と話し合うのは、新しい気づきがあるので、今後も参加したい。
- ・ 連携ノートは大変助かっています。たくさん活用しています。
- ・ いつも気づきが得られます。